

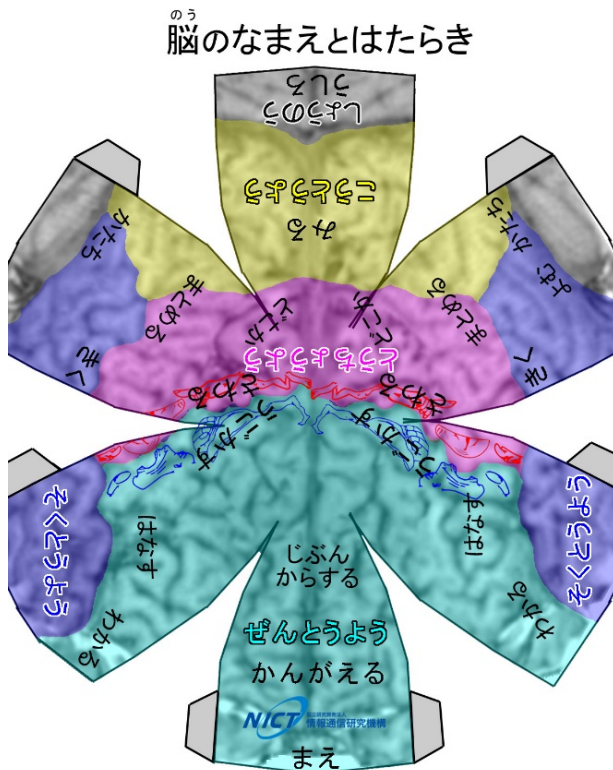
脳帽子解説

紙を切つてのりしろの部分貼り付けてください。ヘルメットのような帽子ができあがります。この「脳帽子」は、脳のどの部分が、どのような働きをしているのかを示しています。

脳は場所によって働きが決まっています。たとえば後頭葉（こうとうよう）は見る働きに関係していますし、前頭葉（ぜんとうよう）は考える働きに関係しています。聞く働きに関係しているのは、脳のどの部分でしょうか？

この「脳帽子」は、少し専門的な言葉を使うなら、大脳皮質（だいのうひしつ）と脳機能（のうきのう＝脳の働き）の関係を表したものです。大脳皮質は、シワシワになった脳の表層部分で、人間でとくに大きく発達しています。

よく見ると、頭頂葉（とうちょうよう）と前頭葉（ぜんとうよう）の境目に、人の手や足、顔などの絵が描かれていますね。手が描かれている場所は、手の感覚や運動にかかわっています。足が描かれている場所は、足の感覚や運動にかかわっています。顔も同じです。手が足よりも大きく描かれているのは、手の感覚や運動の方が足の感覚や運動よりきめ細やかであることを意味しています。



作って、かぶって、勉強しよう

Created by Makoto Kato

大脳皮質の形と脳機能の分布

